

| | |
|------------------|---|
| Title | 第四十一卷第十二号目次；第四十二卷第一号目次 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾大学法学研究会 |
| Publication year | 1969 |
| Jtitle | 法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.42, No.2 (1969. 2) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19690215--002 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第四十一卷第十二号目次

論 說

オーストラリア憲法における

「充分な信頼と信用」条項

ドイツにおける不動産附合法の生成

資 料

オーストラリア刑事法学の一断面

判 例 研 究

〔商 法〕 七八 手形の原因債権を自

働債権とする相殺と

手形の交付の要否

〔労働法〕 五四 日本電気株式会社

件

〔最高裁判事例研究〕 六〇

〔最高裁判事例研究〕 二六

紹介と批評

F・マイネッケ著

『世界市民主義と国民国家』

R・ウォルフ他著『純粹寛容批判』

B・R・エプスタイン他著

『過激な右翼』

平 良

新 田 敏

宮 沢 浩 一

商 法 研 究 会

社 会 法 研 究 会

民 事 訴 訟 法 研 究 会

刑 事 訴 訟 法 研 究 会

多 田 真 鋤

奈 良 和 重

太 田 俊 太 郎

第四十二卷第一号目次

論 說

利息制限法超過利息の検討

国連の強制行動

資 料

ルーマニア社会主義共和国憲法

判 例 研 究

〔商 法〕 七九 債権担保のために手

形を取得した第三者

に対して振出人は被

担保債権超過額につ

き融通手形の抗弁を

主張できるか

〔労働法〕 五五 大光相互銀行事件

〔最高裁判事例研究〕 六一

〔最高裁判事例研究〕 二七

宮下啓三著

『中立をまもる —— スイスの栄光と苦惱 ——』

白鳥 令著『政治発展論』

T・バーンス、S・B・ソール共編

『社会理論と経済変化』

今 泉 孝 太 郎

三 好 正 弘

森 田 昌 幸

商 法 研 究 会

社 会 法 研 究 会

民 事 訴 訟 法 研 究 会

刑 事 訴 訟 法 研 究 会

内 山 正 熊

内 山 秀 夫

川 合 隆 男